



読字 故 原 田 親

No. 599

2010/3/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東工学会ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒703-8236
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8014
倉敷市瀬島中央1-8-4 (宮地方)
TEL:FA30860416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国はどこへ向かうか⑥

日中友好協会倉敷支部理事長・倉敷医療生協名誉理事長

栗本 泰治

さて、中国はどこへ向かうかという問題です。

すでに、社会主義市場経済についてお話ししましたので、あとは多くありません。中国はどこへ向かうかという場合には、建国の時に中国はなにをめざしていたのか、もういちどふりかえってみる必要があります。

60年前の1949年10月1日に、当時の国家主席である毛沢東によって天安門前で建国宣言がされましたが、その3日前に中国人民政治協商会議共同綱領が発表され、中国の建国の基本理念と政策が公表されています。

それによると、中華人民共和国は、新民主主義すなわち人民民主主義国家であって、……中国の独立、民主、平和、統一、および富強のために奮闘し、「ひだいに農業国を工業国に変えていく」とされています。

新民主主義とか人民民主主義とかについてきょうはふれる時間がありませんが、ひと言で言えば、社会主義をめざす国家であるといっているわけです。そして、独立、民主、平和、統一、および富強のために奮闘す

ると言っています。

半植民地状態から完全に抜け出して独立を達成し、反封建的な制度を改めて民主国家をめざし、他国とは平和共存し戦争のない平和をめざすことを宣言しています。統一は、多民族国家である中国が民族対立をなくして国として統一していくことです。台湾の統一もその課題の一つです。そして、豊かでつよい国をめざして奮闘すると言っています。なにしろ日本の20

倍の広さで、人口は13億人です。すから、そう簡単ではありません。

この60年の間に、中国は建国の基本理念と政策にしたがって、それぞれ立派にその課題を実現しつつあります。もつと正確に言えば、実現する過程にまだあると言つてよいでしょう。

60年前の中国を知っている人なら、だれでもその前進と変化を評価するに違いありません。

60年前の綱領には、独立、民主、平和、統一などとともに、「富強」がかかげられています。中国が長い間先進国の半植民地とされてきたことへの反省が、その「富強」の二字に色濃く出ています。国の貧しさゆえ

に、独立が損なわれ、侵略や戦乱がつづいた歴史をふりかえると、豊かさとは、民族の悲願であつたと思われまふ。ある意味では、独立、民主、平和、統一の課題の共通の土台であつたときえいえるものです。だからこそ、60年間のささかもゆるいだがことがない、最優先の課題でありつづけたのです。

わが国は、中国とは、共通の文化的基礎をもついちばん近い国です。中国の歴史を理解し、あの中国への侵略戦争の過去を正しく精算してこそ、二十一世紀への展望が開けると確信します。

(おわり)

2月21日(日)、岡山コンベンションセンターにて開催された伊藤千尋さんの講演を聴きました。タイトルは「活憲の時代」世界から見た日本国憲法」です。

朝日新聞記者でもある伊藤さんは大変元氣一杯の方で、まずその声の大きさに圧倒されます。また、とても楽しそうに話してください、聴いているだけで元氣になります。

話の内容を一つ紹介します。

それはアメリカのバーバラ・リー議員のことです。彼女は2001年9月に起きた「同時多発テロ」の翌年、議会にかけられた、戦争をする権利を大統領に一任するという法案にただ一人反対した議員です。当時のアメリカは、反撃のためにアフガニスタンを攻撃するのは

あたりまえという雰囲気だったそうです。その中で、たつた一人法案に反対するのは大変な勇気がいるのでは、と、彼女にインタビューを申し込んだそうです。

当時、伊藤さんはアメリカ特派員でした。すると彼女は、アメリカ憲法を何度も読み返し、議員の仕事は、大統領のすることを、議会で審議する事だと考え、当然のことをしたまです。と答えました。そして一年後、選挙があり、彼女は今まで獲得した事がない4倍以上もの大差をつけて、対立候補に勝ったそうです。一時は感情に流されても、アメリカ市民は戻ってきたんですね。

彼女がその時、冷静に憲法を読み返したことに、感動します。多分アメリカの市民もそうだったんでしょう。

初めての新年会 初級コース月曜日クラス

岡輝公民館の初級コースに13名の受講者がいて、会話の時間が十分に持てないと南蓮老師(先生)がもう一つのクラスを作りましようと思案され私たちのクラスがスタートしたのは2008年7月、4名で始まりまして。

中国語講座への皆さんの思いもそれぞれです。上海へ仕事で月1〜2回行かれるKさんを始め、皆さんは中国語会話を使つての中国旅行が夢です。

南老師が東京へ転居された2009年8月から馬小菲老師が私たちの先生です。

教室の中で先生が一番若くて26歳、娘に教えてもらっている感じですね(失礼)。

私たちの講座は現在46歳〜67歳までのメンバーですが、教科書を横に置き中国の文化や習慣などの話にも花が咲きます。

このメンバーで中国語を使つた研修旅行を一度したいねと以前から話していました。

一月に新年会をしましようとお老師から話があり、もちろん皆さん大賛成です。

鍋を囲みながらビール、日本酒、紹興酒などのアルコールが入つてきて、誰からか老師の故



郷(内モンゴル自治区)へ旅行しましようと言いはじめた。

時期は……?

青い草原が広がる夏ですね(老師)

お盆の休みを利用しての声(決まり)

頑張つて費用をこれから貯めようと話す人、会社の休みがもらえるか心配な人……思いはそれぞれです。

今年の8月に内定しました。飛行機で北京へ、一昨年に中国36000キロの鉄道の旅をされた関口知宏さんと同じように北京から10時間、寝台列車で赤峰市へ向かいます。

馬老師も満点の星を見てくださーい!!今から楽しみですね。

講座のみなさんは、今まで以上に熱心に中国語に取り組んでいる今頃です。

月曜日・旭公民館

・初級クラス一同

「市民のつとめ2010」 記念講演を聴いて

日中岡山9条の会 真田紀子

2月21日(日)、岡山コンベンションセンターにて開催された伊藤千尋さんの講演を聴きました。タイトルは「活憲の時代」世界から見た日本国憲法」です。

当時、伊藤さんはアメリカ特派員でした。すると彼女は、アメリカ憲法を何度も読み返し、議員の仕事は、大統領のすることを、議会で審議する事だと考え、当然のことをしたまです。と答えました。そして一年後、選挙があり、彼女は今まで獲得した事がない4倍以上もの大差をつけて、対立候補に勝ったそうです。一時は感情に流されても、アメリカ市民は戻ってきたんですね。

彼女がその時、冷静に憲法を読み返したことに、感動します。多分アメリカの市民もそうだったんでしょう。

操南地域9条の会

中国の食と音楽を楽しむ会開く

2010年2月20日、操南公民館で「操南地域9条の会」主催の「中国の食と音楽を楽しむ会」が開かれ、28人が参加しました。

会は、小橋一太よびかけ人の七夕のように年一回の催しですが、この地域に『9条の会』が存在することを、知ってもらうためにも大切な取り組みです。とのあいさつで始まりました。

岡山市江並に在住の西岡良高さん（東洋医学療術師）の「蘇州夜曲」など5曲の二胡演奏を聴きました。身体に染み入る静かで柔らかな曲、馬が駆け上がるようなテンポの

速い曲など素晴らしい演奏を堪能しました。

また、中国 残留日本人孤児「の高杉久治さんと 残留婦人」二世の篠原明男さんの指導による水餃子づくりに挑戦しました。

参加者は黄さんの通訳を紹介して、2人の小麦粉の練り方など水餃子づくりの大切なポイントについての説明を受けながら、具や皮づくりを楽しみました。料理教室の彼方此方で日本語と中国語が飛び交う、日中交流の場となりました。

出来たての水餃子を公民館の3人の職員の方に試食して

もらい、大変美味しかった。」と喜ばれました。

最後に、司会・進行の私は戦争の犠牲者である

残留日本人孤児・婦人」を再び生み出さないためにも、日中不戦（日中友好）が大切であり、このことは 憲法9条」を活かす道にも通じると述べました。

中央が高杉さんその右が篠原さん

小林軍治



中央の演奏している人が西岡さん

これぞ、本場の水餃子!!

操南地域9条の会

貝吹佳代子



2月20日の朝、公民館の調理室を開けると、外の空気とはまったく違って、熱気にあふれていて、開始のベルはまだな

らないうのか、という中で始まった餃子作り。

流暢な日本語であいさつされた高杉さんと篠原さんはいつも日本語教室でお会いするお二人とは違い、この日は一段と凛々しく感じられ、日本語うまいね。」とみなさん感心しておられました。

さて、はじめに小麦粉をこね、寝かせている間に餡となる野菜のみじん切り。これがあまりにもいつも切る私たちのそれとは大きさが違うので、そんなに細かくするん？」切るだけで疲れるネ。」と代わる代わる

ききました。

西岡さんの心地よい演奏を聞きながら食べる餃子の美味しいこと。『くらでも食べられるね。』とおしゃべりしながら、思わず此処は中国かなと思うほどの楽しい時間でした。

私達が食べている間も500個以上の餃子をお二人で茹で上げ、「うちのの方が熱くて美味しいですよ。」と気づかずに下さ

り、高杉さん、篠原さんには本当に頭の下がる思いでした。

このような交流を通して、戦争の歴史や、憲法9条の大切さを改めて考えさせられた一日でもありました。



第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ⑭

資料でお渡ししているコピーの四つの作品、戦場のレクイエムは岡山でも公開されたそうです。まだ「ロッドクリフ」は上映中。花の生涯メイランファンはまだこれから、四川のうたもこれからです。この四本の作品が今の中国というものを大変よく表わしているのではないかとこのことです。

戦場のレクイエム」というのは、1946年から始まる国内戦争の一番激しい戦い、淮海戦役というのがありました。それをバックにした映画です。

私は国内戦争のとき中国にいました。それで人民解放軍がどこを解放したとかを、なんで知ったかというと、長春を走っている市電の横腹に、突然赤い字で「北京解放号」とか「上海解放号」とか書いた電車が走るんです。それを見て、あ、上海が解放されたんだ。北京が解放されたんだ。」とわかるんです。日頃新聞なんか見ているわけではありませんからね。解放されると、必ずそういう電車が走るんです。それで、どんどんと解放軍が南下していったのがわかるんです。

淮海戦役というのは大変大掛かりな戦争で、上海解放戦争の前段階の戦いだったんです。それを描いた映画です。これまでの中国映画で国内戦争を描きますと、蒋介石軍・国民党軍のほう必ず敗

岡山県9条の会ニュース

2010ピースウォーク from 沖縄

3月6日～10日、天地行一行岡山入り

今年5月国連本部で開催される核兵器不拡散条約(NPT)国際会議の成功をめざし、標記の行進が1月1日沖縄を出発し5月3日東京入りをめざし、ピースウォークが行われています。皆様のご協力をお願いいたします。

次回の新聞送付作業は

3月11日(木)午後1時半

民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方で

す。

由 木吹 和 青 貝 小 竹 内 井 坪 三